

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2010年4月20日

MINESHA

『できそう』なことから『できる』社会貢献を  
~ISRを提唱するMINESHAが渋谷で映画上映を開催~

MINESHA（ミネーシャ 代表：松本ミナ）は、2010年5月22日、23日の両日、渋谷シアターTSUTAYAにて Bangladesh のストリートチルドレンの現状をリアルに伝える映画『アリ地獄のような街』の上映を実施します。

この映画上映は、MINESHAが目指す『自分にできる社会貢献』について、多くの人に考えてもらい、社会貢献に参加するキッカケを作ることを目的としたものです。

また当日は上映会場において、Bangladeshの現状を伝える写真を展示、22日には、医師・1985年ノーベル平和賞共同受賞者 梶田 仁氏や小僧.com 代表の平松庚三氏を迎え、舞台にて「私にとっての持続可能な社会貢献」についてお話頂く予定です。

■実施概要

日時：2010年5月22日（土）、23日（日）

10:00 開場/10:30 開演 14:00 開場/14:30 開演（両日とも全席指定）

場所：渋谷シアターTSUTAYA（渋谷駅徒歩約8分 渋谷区円山町1-5 Q-AXビル）

内容：映画『アリ地獄のような街』上映

料金：一般：1,800円 学生1,000円

■アリ地獄のような街 ご紹介（2009年製 Bangladesh映画）

この物語は、アリ地獄のように引き寄せられ、逃れることのできない闇を描きだす。

農村での生活を捨て、大都会ダッカへ足を踏み入れた少年ラジュ。そこでラジュはダッカの路上で暮らすストリート・チルドレンと知り合い、彼らの元締めであるイアシンという男のもとに連れて行かれる。イアシンはダッカの闇を象徴するような男で、ラジュは自分がしている悪事に気づかないまま、イアシンの手先となる。一方、路上に捨てられた少女ククもイアシンの餌食となり、ダッカの闇の生活に落ちてしまう。

監督：シュボシシュ・ロイ（エクマットラ代表）

制作：エクマットラ（Bangladeshのストリートチルドレン支援活動、啓発活動団体）

■MINESHAとは

ミネーシャは、CSR（企業の社会的責任）の基本となるISR（Individual Social Responsibility：個人の社会貢献）を提唱し、『できそう』なことから『できる』社会貢献に気づいてもらう機会をご提供しています。

■プレスリリースに関するお問い合わせ■

MINESHA（ミネーシャ） 担当：松本エミ

〒107-0062 東京都港区南青山6-7-5

電話番号：090-9379-4199 ファックス：03-6805-0954

メール：[info@minesha.jp](mailto:info@minesha.jp) URL：[www.minesha.jp](http://www.minesha.jp)